

Kei Saotome
五月女 慧 ピアノマスタークラス
公開レッスンで プチ**パリ**留学 感覚に！

2019年7月28日(日)

《午前の部10:00~13:00》

●澁谷 優里 中学1年生
ドビッシュー：アラベスク第1番

●野村 はるか 大人
ラヴェル： 組曲(鏡より)
道化師の朝の歌

●澤登 奈月 大人
シューマン=リスト：献呈



《午後の部14:30~17:30》

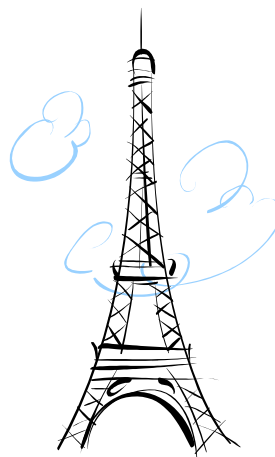
●土淵 綾音 小学3年生
ブルグミュラー：貴婦人の乗馬

田中 カレン：おおぐま こぐま

●原 一葉 小学5年生
ベートーヴェン：ソナチネ へ長調 An h 5

香月 修：スペイン風のワルツ

●岡本 理沙 大学4年生
ショパン：バラード第2番 へ長調 Op.38



聴講料金 各部 2,500円 全自由席 (通しチケット1,000円プラス)

会場：柏屋楽器 フォーラムミュージックセンター 5階ホール

お問合せ：さいたま市浦和区岸町7-1-9 電話048-829-2360

※曲目に変更になる場合があります。未就学児の入場は、ご遠慮下さい。
当日は、楽譜の販売を行いません。前もってご用意して持参下さい。 主催：柏屋楽器

[Profil]

五月女慧 Kei Saotome

浦和市(現さいたま市)生まれ。幼少時代をアブダビで過ごし、9歳の時にフランスの作曲家メシアンとその夫人であり国際的ピアニスト、イヴォンヌ・ロリオに才能を認められ、パリに移住。女史のもとで学ぶ傍ら、フランス国内の数々のピアノコンクールで優勝。15歳でパリ国立高等音楽院に入学し、ミシェル・ベロフに師事。ピアノ科と室内楽科でプルミエル・プリ(一等賞)を得て卒業。在学中よりNHKやフランス国营テレビに出演。フランスを始め、ヨーロッパ各地で演奏活動が開始される。翌年、ドイツのデュッセルドルフで開催された第1回クララ・シューマン国際コンクール入賞。審査委員のヨアヒム・カイザーやマルタ・アルゲリッチに高く評価される。2001年秋、ミラノのヴェルディ・ホールのリニューアル記念コンサート「バッハ・ピアノ協奏曲全曲演奏会」に連続出演し、その演奏はイタリア国营テレビ RaiTre で放映された。

その後、ロシアや特にイタリアではフィレンツェに住んで研鑽を積み、ピアノ奏法の研究を深める。日本では10代より團伊玖磨、日本フィルハーモニー交響楽団などと共演。

これまでに、パリのシャンゼリゼ劇場、プレイエル・ホール、ミラノ・ヴェルディ・ホール、フィレンツェ五月祭劇場、ロシア、サンクトペテルブルク・フィルハーモニーホール、モスクワ音楽院ホール、ニューヨーク州シラキューズ大学のセトナー・オーディトリウムやヴァージニア州リッチモンド大学、ワシントンD.C.のケネディー・センターなど、リサイタルや室内楽コンサートに出演。数々のオーケストラと共演する。ヨーロッパ各地、アメリカや南米の国際音楽祭に招待されるほか、国際コンクールの審査員や夏期アカデミーでのマスタークラスで後進の指導にあたるなど、教育者としても評価を受けている。

近年、アルメニア国においてのガン治療や研究に関心を持ち、演奏を通して貢献するプロジェクトを始める。2017年秋、エレヴァン市のオンコロジークリニック、Institut Français de Cancer d'Erevan 開院の際には、記念コンサートでアルメニア国立室内楽団と共演し、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第1番を演奏。アルメニアの聴衆に深い感銘を与え、高く評価された。レフ・ナウモフ、ヴィタリー・マルグリス、ピエール・ナルチーズ・マージ、クライヴ・ブリトン、ブルーノ・カニーノ、パトリシア・トマ各師に師事。パリ在住。現在フランス国立ヴェルサイユ音楽院ピアノ科教授

【今回のマスタークラス お勧めポイント】

『ご来場の方々には、普段味わえないヨーロッパ感覚のいろいろなヒントいっぱいのレッスンで・・・まるでパリで聴講しているそんな素敵なお時間になればと思います企画しました。』

浦和生まれの五月女慧がヨーロッパへ渡って培った素晴らしい経験をもとにわかり易く進めて行きます。

楽譜を持参で聴講にお越しください、新しい自分発見をしてみましょう！

◀ 会場案内 ▶

さいたま市浦和区岸町7-1-9
柏屋楽器
フォーラムミュージックセンター
5階ホール
電話 048-829-2360

